

現研
パワーアップ
研究セミナー
29

局面が変わる —日本経営の曲がり角—

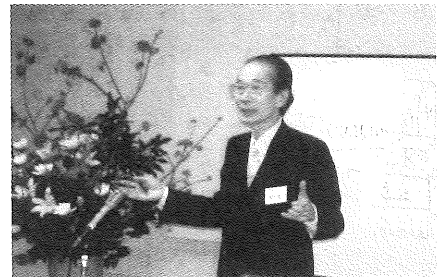
—戦略経営の再起動—

■講師 (株)現代経営技術研究所
所長 鈴木 成裕

■日時 2002年7月5日(金) 13:15~16:50

■会場 東京国際フォーラム G405号室

※裏面地図をご参照ください。



セッションⅠ 変化の基調の判断

13:15~13:50

- アメリカ・EU・アジアの均衡が変動
- アメリカ経済の屈折
- 政治・行政の失策の打撃
- 日本産業譲渡がもたらす産業構造
- 基盤としての中小企業の弱体化
- 企業付加価値力の変動
- 組織ロイヤリティの拡散
- 消費者・購買者の変貌

<10分間質疑>

セッションⅡ 戦略経営の再起動

14:00~14:40

- 状況変化の背景の絞込み
- 所得階層変化の確認
- 全方位判断のできる企業へ
- 人間評価の再構築
- 戦略—実行の一貫モデルの構築
- 新トレンド参入への着手

<コーヒーブレイク 20分>

討議：長期戦略と年次戦略の整理

15:00~15:40

- 激変期にどう対応するか
- 未来志向と現在志向の葛藤
-

セッションⅢ 2002年度後半への着眼

15:40~16:40

- 変化兆候の発見に全力
- 構想化先行スケジュールの一般化
- 障壁打破の新モデルの一般化
- 忠誠を前提とした関係消滅後のマネジメント構築
- 日本型経営とアメリカ型経営の統合
- 行動綱領の明文化
- グローバル供給・消費への進撃

16:40~16:50 参加者名刺交換

※参加者から提起された問題については、時間が限られているため、後日フォローアップ会合を持つ場合があります。

講師の言葉

経済デフレーションの下での変化局面に対応せざるを得ない条件下で、本質的な環境変化がいくつも現れてきています。

例えば、単純な競争原理主義の無効さと日本の産業譲渡過程の深刻さと付加価値志向の消費動向などです。

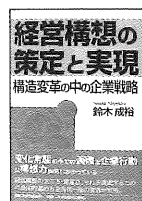
組織を根本的に支える原理や、それに基づく文化構築も急を要するようになっていきます。

では、どう戦略対応すべきか。現研のコンサルティング実績を背景に解明します。

◆ 講師紹介 ◆

鈴木 成裕(すずきしげひろ)

(株)現代経営技術研究所所長。経営政策、システム開発、教育指導を中心に企業・団体の経営コンサルティングに携わる。戦略問題の第一人者として知られる。著書として『システムの時代』(ダイヤモンド社)『経営転換の構想』(同文館出版)『戦略教育』(マネジメント社)『企業意思のリデザイン』(講談社)『経営構想の策定と実現』(産能大学出版部)他、多数。



鈴木成裕著『経営構想の策定と実現』
(産能大学出版部刊)



鈴木成裕著『企業意思のリデザイン』
(講談社刊)

◆ 現研の沿革 ◆

社名 株式会社現代経営技術研究所(現研)

Genken Institute of Management Co., LTD

所長 鈴木成裕

設立 1965年7月1日

事業 コンサルティング、システム開発、プロジェクト指導、教育、リサーチ

現研37周年

現研
(株)現代経営技術研究所

[本部]〒113-0033 東京都文京区本郷1-25-25日商連ビル TEL03-3813-7338(代) FAX03-3813-6964 E-mail:honbu@gen-ken.co.jp
[経営調査部分室]〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-17 ICNビル TEL03-3813-7910(代) FAX03-3813-7920
[ロンドン事務所] GORDON HOUSE, 6 LISSENDEN GARDENS, LONDON NW5 1LX U.K. TEL44-20-7482-8813